


麦ストロー（無添加・無漂白）

	<p>【製作】 伊那市社会福祉協議会運営の多機能型事業所 （コスモスの家、ゆめわーく、さくらの家）</p> <p>【材料】 大麦（市内生産農家より提供） ライ麦（信州大学農学部より提供）</p> <p>【規格】 ロングサイズ（18 cm・20 cm） ショートサイズ（15 cm）</p> <p>【販売価格（税込み）】 198 円（ロング3本、ショート2本入）を予定 ※約 1,000 本作製</p>
---	--

【経過】

- ・脱プラスチック推進の一環として、代替商品としての『麦ストロー』の製品化を検討。
- ・令和2年度事業で伊那市農業振興センターに「麦ストロー製品化試験業務」を委託。
- ・伊那市農業振興センターは、麦わらという農業生産における副産物を利用した製品づくりに障害者が携わることで賃金の増加に繋がることを目指し、『農福連携』での事業化を視野に検討。伊那市社会福祉協議会に試作を依頼し了承を得る。

【試作作業の流れ】

- ・6月17日 大麦の刈取り
 - ・8月3日～ 節の切り落とし
 - ・9月17日～ 製品規格に合わせた長さの調整、消毒
- ※延べ60人以上が作業に携わる。



【作業の工程】

- ・麦の刈取り
- ・乾燥（ハウス等の雨避け施設での自然乾燥）
- ・節切り（節を切り落とし外皮を除く）
- ・長さを揃えるための切断
（20 cm、18 cm、15 cmの3サイズ）
- ・太さの計測
- ・消毒（煮沸）及び乾燥（機械による強制乾燥）
- ・検品、包装



【※裏面へ続く】

【農薬検査】

- ・長野県農村工業研究所に検査を依頼し、残留農薬不検出

【現在までの問い合わせ等の状況】

- ・11月22日（日）開催の『高遠城下 石仏ウォーク』での使用。（コース内に設置する給水所で提供予定）
- ・市内飲食店での試用
- ・営業用販促品として検討

【課題等】

- ・ストローに適した品種の選定と栽培
- ・適期での収穫（茎に若干の青みが残る段階での刈取りなど）
- ・刈取り後の乾燥や切断作業の場所の確保
- ・人的支援
- ・販路の確保

【今後の取組み】

- ・ストローに適した品種としてライ麦などを選定し、市内で農福連携に取り組んでいただいている農家等への栽培協力依頼と適期収穫について検討する。
- ・JA等に栽培指導を依頼する。
- ・乾燥及び作業場所として市有の空き施設などの活用を検討する。
- ・作業支援のためのボランティアの活用や社協運営のデイサービス利用者との作業分担を検討する。
- ・市主催のイベントでの活用や市内飲食店等での使用など検討とPRを行う。